

創立 100 周年記念事業 募金趣意書

自由教育の伝統を 未来に紡ぐために

Myojogakuen 100th Anniversary



学校法人 明星学園

Myojo

ご挨拶

自由教育の伝統を未来へ



学校法人明星学園 理事長

平田 和孝

来る2024年5月、明星学園は創立100周年を迎えます。

この間、皆様から温かいご支援ご協力をいただきながら、100年という時を刻んで参りました。心より感謝申し上げます。

あらためて申し上げるまでもなく、本学園は「大正自由教育」と呼ばれる、国際的には新教育運動のなかでその産声をあげました。「個性尊重、自主自立、自由平等」という3つの建学の精神は、教育の本質を、“子どもたち一人ひとりが「今を生きる豊かな個性を持った存在」であり、主体的な「自主・自立」の活動が「自由平等」な個性の交わりを通じて個性を開花させる（人格の完成をめざす）ことにある”と捉えるものでした。

時代はいま、地球規模でSDG's(持続可能な開発目標)を掲げ、5つのP,[people(人間), planet(地球), Prosperity(繁栄), peace(平和), partnership(パートナーシップ)]の原則を掲げる時代に入っています。一言でいうなら、グローバルに物事を考え、活動は「ここ」という足元から始める時代と言えるかと考えます。こうしたなか、明星学園の自由教育の伝統は、確かな未来に続く普遍的なものを数多く培ってきました。そして、今未来に引き継ぐにあたっては、ICTをはじめとした教育環境の充実が課題になっています。

そこで、創立100周年を機に中学校の校舎建設など施設設備の拡充計画を立てました。総工費は、中学校建設関係で20億、その他の施設整備で5億、総工費では25億の試算です。従いまして、一時中断していました創立90周年の折の募金を再開し、100周年に向けて募金目標額を2億円としました。90周年の折の募金額である約5千万はそのまま引き継ぎますので、残りは1億5千万という額になります。

詳しくは、この趣意書をご覧ください、明星学園の未来への投資だにご理解いただいて、ご協力ご支援をお願いする次第です。

明星学園の紹介

学校法人 明星学園

所在地 [井の頭キャンパス・学園事務局] 東京都三鷹市井の頭 5-7-7

[牟礼キャンパス] 東京都三鷹市牟礼 4-15-22

理事長 平田和孝

創立 1924 年

設置校 明星学園小学校、明星学園中学校、明星学園高等学校（普通科）

児童生徒数 1,533 人（2021 年 4 月現在）

教職員数 103 人（2021 年 4 月現在）



明星学園ホームページ

<https://www.myojogakuen.ed.jp/>



教育理念

個性尊重

子どもたちはそれぞれの個性に生きています。個性が理由なく傷つけられたり歪められたりしたのでは正しい教育はできません。教育の原則はまずこの個性を十分に伸ばすことで、一人ひとりの個性に即してきめ細やかな教育の方法が工夫されねばなりません。一人ひとりの個性に合わせて、伸ばすべき長所を伸ばし、補うべきことを支援していきます。

自主自立

子どもの自主性を重んじ自立的な態度を身に着けるためには、学び方も主体的であるべきです。自信に満ちた生活は自主性によって支えられます。創意、発見のある学習態度はそれを促進させます。明星で保障される自由は勝手気ままにふるまうことではなく、自己の確立に向かつての自由です。

自由平等

人は自由であり平等でなければならないということは子どもたちの上にも無条件で当てはまります。子ども同士が平等であり、子どもと先生が平等であるように先生同士も平等なのです。何人も「強制」による束縛は受けません。自分が自由であるということは、他人の自由をも同等に尊重されねばならないことです。

教育の特徴

- ・ 明星学園は児童・生徒一人ひとりを大切にします
- ・ 明星学園は豊かな人間性を育てます
- ・ 明星学園はしっかりとした学力を育てます
- ・ 明星学園はグローバル社会で活躍できる資質を育てます
- ・ 明星学園は“自由”を大切にします

明星学園は、小学校、中学・高等学校が設置されていて、12年間の一貫教育の体制をとっています。12年一貫の教育目標は「将来に夢と希望を持ち、主体的、創造的に力強く生きる人間の育成」です。個々の個性を尊重し、探究的な学びを通して自己を確立していくことを目指しています。

小学校で培った「知的好奇心・探究心・表現意欲」は中学・高等学校では「教養・自己表現・社会性」へと昇華されます。高等学校では選択授業を多く用意していて、自分の進路を考えながら履修することができます。

生徒主体の明星祭、音楽祭、豊かな国際交流イベント、職業体験などがあり、クラブ活動も盛んで教科以外の活動も充実し、一人ひとりに活躍の場が保障されています。探究的な学びは人間形成に欠かすことのできない体験です。

明星学園の沿革 1924-2024



創立時の生徒（小学1～3年生）と創立者たち



1960年代の高校校舎



1930年代の女学部 中央に座っているのは赤井園長

武蔵野の自然の中で、自主・自立を育み 子どもたちを主体的な学びへと向かわせる教育の場

明星学園は1924年（大正13年）に創立されました。赤井米吉、照井猪一郎、照井げん、山本徳行の4人の創立同人（教員）により小学校が開設されました。建学の教育理念は、「個性尊重・自主自立・自由平等」です。この教育理念のもとで、明星学園独自の校風を築き上げ、90年余の歴史を刻み、今日に至っています。

大正デモクラシー運動高揚のなかで生まれた自由教育運動は、当時の管理主義的画一教育から子どもたちを解放し、子どもの個性や自主・自立を尊重する教育運動でした。

その代表的教育者の一人、成城小学校の沢柳政太郎に強い影響を受けた創立同人4人の、“武蔵野の自然のなか”に子どもたちを解放し、自分達の理想を高く掲げた学校を開設したい”という熱き思いにより、明星学園は誕生したのです。したがって、建学の教育理念は、大正自由

教育運動を色濃く反映したものであり、その教育が子どもたちの解放をめざし、子どもを一個人の人格として教育する人間教育として創立以来息づいている所以でもあるのです。

小学校開設のとき入学した最上級生の卒業にあわせて、1928年（昭和3年）に中学部（旧制中学校）と女学部（旧制高等女学校）が開設されました。また、中学部・女学部開設のため、上田八一郎が部長（校長）として参加しています。この中学部・女学部が戦後の学制改革で男女共学の中学校と高等学校に改組され、今日あるような学園の体制になりました。

戦中・戦後と幾多の世相の変化のなかで、明星教育も紆余曲折はありますが、その基本理念や初代校長の信条は今日まで一貫して流れ続けています。

創立 100 周年に向けた募金のお願い

明星学園小学校校長 剛力正和

明星学園中学校・高等学校校長 平野康弘

まもなく創立100周年を迎える明星学園は、時世に流されることなく、創立の理念である個性尊重・自主自立・自由平等の精神の元、常に目の前に居る子どもたちを中心に据えた教育実践を続けてきました。もちろん、伝統に胡坐を掻いて何も進化せずに過ごしてきたわけではありません。時世の目まぐるしい変化に迎合することは戒めつつ、必要な改革は常に検討し続け、日本の教育界に影響を与える存在として活動し続けてきました。

小学校では、伝統として定着している低学年の『みーつけた』の実践が、今教育界に求められている“総合探究”の重要な素地として確かに位置付き、高学年の教科内探究と6年生の卒業研究へとつながっています。また、未来を担う子どもたちに是非とも身に付けてもらいたい感覚としての「地球市民」という意識ですが、創立理念の「個性尊重・自主自立・自由平等」の精神は、まさにその「地球市民」の感覚を保障する考え方です。様々な国の人々と共同して地球を守っていくためのコミュニケーションツールの重要な要素として、公立小学校よりも早く20年前から導入した全学年週2時間の英語の授業は、楽しみながら英語力が身に付く実践として高く評価されています。英語をきっかけとして非英語圏も含めた国際交流にも力を入れ、オーストラリアと台湾の姉妹校との交流も進めています。希望者には、姉妹校への短期留学や逆に姉妹校からの留学生のホストファミリーとなることも出来るようになっていきます。このような小学校は他にはあまり存在しておりません。今後は、帰国生の受け入れ幅も広げるために、国際学級の導入などについても検討していきたいと思っています。そのための専用スペースの確保も新校舎建設に合わせて実現して行きたいことのひとつです。

中学校では何年も前から学内外で研究を重ね、数年前にカリキュラム化した総合探究の授業に、今世間の

注目が集まっています。子どもたちが自分の考えを持ち、意見を述べ、他者と議論していくという探求の中心的考え方は、元々明星学園の授業の中で大事にされてきた考え方です。だからこそ総合探究の授業が数年の内に発展し定着を果たしたのだと思います。現在、7年で『哲学対話』と『図書館と情報』、8年で『探求実践』、9年で『卒業研究』という一連の流れを通して、子どもたちが生き生きと自分の仮説を創り、自ら調査研究し、他者と交流し、議論を深め、深化した考えを発表することができるように育っています。さらに、通常の授業での探究的活動も深化するという相乗効果も生んでいます。今後は、高等学校の伝統として注目を集めている総合の授業と、探究とを結びつけ、中高一貫としての総合探究の完成を夢見ています。そのためには総合探究の授業を支えてくれる図書館の更なる充実をはかる必要があります。中学校校舎の建設に合わせて、図書館を中心とした子どもたちの探求活動を支える空間の拡張を実現したいと思っています。中学校校舎と同様に古くなってきた高等学校校舎のリフォームも急務です。高等学校においても、増え続ける芸術系コース希望に対応する施設の拡張や、総合探究を保障する図書館と探究活動空間の拡張も考えなければなりません。

中学校棟・管理棟を含む井の頭キャンパスの新校舎建設、そしてその後続く牟礼キャンパスの高等学校建設事業には多額の建設費用が必要になります。これらの建設計画を確実に実行していくためには、まだまだ建設資金が足りません。まずは、中学校棟・管理棟を新築するための募金をお願いしてまいります。目標は90周年記念事業でお預かりした5千万円と合わせて2億円です。どうぞ、未来の明星学園のためにお力をお貸しください。

皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



寄付金の募集に関して

寄付金概要

- 1) 募金名称 : 明星学園創立100周年記念事業募金
- 2) 募金目的 : 中学校校舎建設
- 3) 募集金額 : 2億円(※)
(※) 明星学園創立90周年記念事業募金で預かりしております総額5千万円を含みます
- 4) お申込金額: 1口5千円
(1口未満のご寄付につきましても大切に活用させていただきます)
- 5) 募金期間 : 2021年5月～2024年5月
(2020年11月より先行開始しております)
- 6) 募金対象 : 個人(在学生保護者、卒業生、教職員、学園関係者、一般)、法人、団体

創立100周年記念事業 建設計画 2021～2030年度(10年計画)

- ① 総工費 25億円(うち中学校校舎20億円、改修機能向上5億円)
- ② 調達 25億円(基本金10億円、募金および借入10億円、期間収支5億円)

(募金金額の影響) 中学校校舎は2029年度竣工予定
募金目標金額に達すれば前倒しの竣工も実現可能



※中学校校舎および管理棟イメージ図



ご寄付への感謝（ご返礼）

ご寄付は中学校校舎建設に有効に活用させていただきます。

寄付者のご芳名（希望者のみ）は、学園報やホームページなどでご報告させていただきます。

ご寄付をいただいた方々に、募金金額に応じた特典を下記の通り贈呈いたします。

また、明星学園創立90周年記念事業募金でお預かりした募金も「芳名録」にて保管させていただいております。
創立90周年記念事業募金と合算しご返礼させていただきます。

1口5千円

2万円以上（4口以上）：①100周年ロゴ入りグッズ（※1）（※2）

20万円以上（40口以上）：①+②中学校新校舎プレート貼付（※2）

（※1）100周年記念ロゴは2021年内に決定する予定です。グッズはロゴ決定後にお送りさせていただきます

（※2）詳細は後日ホームページ等でご案内いたします

申込・払込方法

◇銀行振込によるお申し込み

「明星学園寄付金申込書」をご記入の上、学園事務局経営企画室広報Gr.までFAX、郵送のいずれかでお送りください。

【寄付金振込口座】

振込先銀行	三菱UFJ銀行
店名	吉祥寺駅前支店
預金種目	普通
口座番号	0119813
口座名義	学校法人明星学園寄付金口

◇インターネットによるお申し込み

クレジットカード決済の場合、インターネットからの申し込みとなります。



明星学園ホームページ
創立100周年記念サイト

<https://www.myojogakuen.ed.jp/100th>



◇郵便局振込によるお申し込み

「払込取扱票」が寄付金のお申込書になっております。
必要事項をご記入の上、
ゆうちょ銀行・郵便局からお振込みください。

◇法人でお申し込み

法人用の申込書類をお送りいたしますので、お手数ですが、事前に事務局経営企画室広報Gr.までご連絡をお願いいたします。

証明書の発行

本学園への寄付金は所得控除として税務署で確定申告を行うことにより、所得税の控除を受けることができます。ご入金を確認でき次第、お礼状と「特定公益増進法人であることの証明書（写）」をお送りいたしますので、確定申告の際ご活用ください。

皆様のご支援を心からお待ちしております。

募金に関するお問い合わせ先

学校法人 明星学園 事務局経営企画室広報 Gr.

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭 5-7-7

Tel. 0422-43-2195

(月～金 9:00 ～ 16:00)

学園の教育活動をぜひご覧ください。

明星学園ホームページ <https://www.myojogakuen.ed.jp/>

ご寄付に関する詳細は創立100周年記念サイトでもご覧いただけます。

100 周年記念ページ <https://www.myojogakuen.ed.jp/100th>